

ヨコハマみなとみらい物語

火曜日 19:30-21:00 会場:BankART Station 参加費:無料

時代は平成から令和。関内地区から移転したBankART Stationのある新高島地区は、現在、バブル期againとでもいえる状況で、猛スピードで高層ビル、アリーナ、ホテルなどが建設中です。ゆったりとした公園や広場を配した外構計画に加えて、オフィスビルを中心とした建築群。建蔽率の制御と容積率の緩和、そして市民への開放という基本コンセプトは、バブル崩壊時代の荒波に耐え、計画から数十年を経た現在、その姿をあらわしつつあります。日産本社の内部を通過する横浜駅東口に向かうインサートされた橋(公道)とショールームや、アトリウムに巨大な16Kスクリーンとカフェを配し、2Fには自社商品が楽しめる美しい空間を展開している資生堂など、これらは「街づくりへの意志」を辛抱強くリレーしてきた官(都市整備局)と民(企業)とのコラボレーションの象徴といえるでしょう。このゼミは、新しく誕生する街の真実の姿を見つけ、きこえない声を聴いていくプロジェクトです。足で稼ぎ、写真を撮り、文章を書き、住んでいる人、住んでいない人にインタビューをし、この街の多様な表情を浮かび上がらせる事ができればと思います。そしてみらいの「みなとみらい物語」を綴っていただくではありませんか。

バンカートスクールとは?

バンカートスクールは、横浜・馬車道に残る歴史的建造物を芸術文化に活用したBankART1929のプログラムのひとつとして、2004年4月に開校しました。と書いてから早15年。場所は「馬車道に残る歴史的建造物」から日本郵船の倉庫へ、関内の泰生ビルへ、そしていままた泰生ビルに加え、シルクセンター、新高島駅へと拡大しましたが、中身は大して代わり映えしません。バンカートスクールの守備範囲は美術・演劇・写真・建築・音楽・ダンスなどアート全般におよび、講師は各ジャンルの第一線で活躍する人たちばかり。子供向けのワークショップから専門性の高い講座までレベルはさまざまですが、いずれも少人数制で、講師と受講者同士の親密な交流を重視する現代の寺子屋をめざしています。この15年の間に308講座、述べ1015人の講師の方々をお招きしました。受講生は4歳のおじょうちゃんから85歳のおじいちゃんまで、述べ4900人をこえます。ぶっちゃけ話、これらの講座をうけた受けたで即戦力にはならないし、なにか資格が得られるわけでもありません。受けるだけではなんの役にも立たないのです。むしろここから自分たちでなにを立ち上げていくのか、それが問われているのです。(バンカートスクール校長 村田 真)

このゼミは、無料で受講可能です。受講を希望される方は、メールでお申し込みください。

school@bankart1929.com

【お申込み要項】

- ①講座名「ヨコハマみなとみらい物語」②お名前 ③ご住所
④電話番号、メールアドレスのどちらか

*申し込み受付は、定員になり次第、終了させていただきます。

【アクセス】BankART Station

横浜市西区みなとみらい5-1 新高島駅B1F みなとみらい線「新高島駅」構内

【お問合せ】school@bankart1929.com 045-663-2812

第2期 スケジュール

1月21日

「旧市街地との連結(仮題)」

野村祐造(鹿島建設)

1月28日

「資生堂新社屋のビジョン」

小田康太郎(資生堂)

「日産本社について」松尾 勉(日産自動車)

2月4日

「横浜野村ビルについて」

山崎雅広(野村総合研究所)

2月11日

「みなとみらいパブリックアート」

飯島悦郎(元横浜市職員)、

村田 真(美術ジャーナリスト)

2月18日

「作戦/編集会議」

3月3日

「富士ゼロックス」

杉田晴紀(富士ゼロックス)

3月10日

「京急本社と美術館(仮題)」

飯島 学(京急急行電鉄)

3月24日

「作戦/編集会議」

第1期(開催済み)

11月5日 「みなとみらい線」大石龍巳(横浜高速鉄道)

11月12日 「横浜みなとみらい本町小学校」
小正和彦(校長)、加茂紀和子(みかんぐみ)

11月19日 「作戦会議」

11月26日 「第二代横浜駅のことなど」西川武臣(横浜開港資料)

12月10日 「作戦会議」

12月17日 「誘致事業30年間の歩み」

大橋係長(経済局新産業創造課)、古木淳(みなとみらい21)

12月24日 「みなとみらいのランドデザイン」恵良隆二(元三菱地所)